

武蔵野大学新図書館学生ワークショップ

企画・運営：武蔵野大学 建築デザイン学科 水谷俊博研究室

武蔵野大学の7学科が参加し、新しく出来る図書館の共用スペースの利用提案を行っていく。空間設計へのこだわりや利用者目線の提案など、他学科ならではの多角的な視点が変わることで、単一の学科では生まれない創造的な解決策が生まれた。異なる背景を持つ人々との対話を通じて互いの強みを活かす重要性を学び、今後武蔵野キャンパスに通う人が心地よく使える場所の可能性を考えていく。

1. 活動

現在、実際に松田平田設計さんによって武蔵野大学の図書館は新設工事が行われています。その新しい図書館の一部となる共用スペースの利用についてのアイデアを検討していきます。実際に武蔵野キャンパスを使っている学生が集まり、これまでの武蔵野キャンパスでの学生生活を通して感じていることを踏まえ、学生が提案を行います。

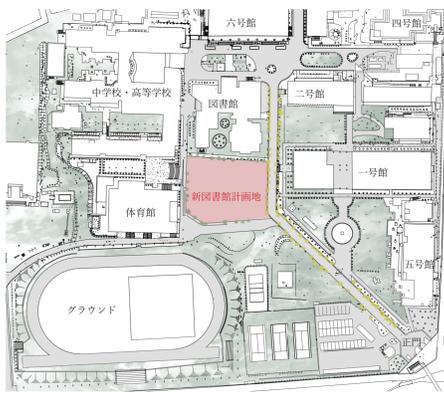
2. 参加学科

建築デザイン学科	教育学科
日本文学文化学科	薬学科
社会福祉学科	幼児教育学科
アントレプレナーシップ学科	



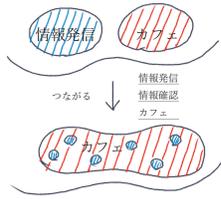
3. 敷地

武蔵野大学武蔵野キャンパス



4. 第一回ワークショップ

壁やカフェの造作や配置などがまだ確実に決まっていない状態の所に、学生たちが使いたくなる空間のイメージや壁の使い方を提案させていただきました。提案例)



情報とカフェではなく、カフェの中に情報を加えることで情報を見に行くのではなく、勝手に情報が入ってくる。
↓
今後は目的が変化する
情報を見るためにカフェに行くようになる。
*受動的が能動的に変化する。



図書スペースと共用部の境となる壁面にテーブルなどを設け、境目の活動を緩やかにつなぐことを提案する。



可動式の掲示板や机・椅子を用いて使う用途や人数によってレイアウトを変更できる場所にしたい。



5. 第二回ワークショップ

第一回の提案の中からいくつかの提案を採用して設計していただいた計画をもとに、場所や部屋の具体的な利用提案を行いました。提案例)

四個の部屋をそれぞれ違う用途の部屋を設け、会議室や雑談が出来る部屋、リフレッシュなど幅広い用途を求める。



土足禁止エリアを設けたい。床の素材や色で土足エリアの区別をつけたい。



「靴で歩いたところに座りたくない」という意見のもと、靴を脱げる場所の提案をする。

また、靴を脱げることによるリラックス効果と、空間の差別化を図った。

6. ワークショップタイムライン

アイデア検討

プレゼンテーションボード作成

発表・講評

異なる学科が混ざり合った5つのグループに分かれ、各グループごとに共有部の利用アイデアを出し合いました。グループ内で「あったらいいな・出来たらいいな」とそれぞれ思うことを共有し、場所ごとに異なる要素を出し合います。

新しい図書館の平面計画にやりたいことが伝わるようにアイデアを書き込みます。写真やイラストも入れてイメージを膨らまし、パネルにまとめていきました。

実体験を踏まえて考えたアイデアを各グループごとに発表し、他のグループとアイデアを共有しました。発表後には松田平田設計の方から講評をいただき、今後の大学図書館の利用方法につながる提案をすることが出来ました。

